

■中国：1月—8月の電力需給状況を発表

国家発展改革委員会は2009年9月14日、1月から8月までの電力需給状況を発表した。それによると、全国消費電力量は2兆3,409.24億kWh、前年同期より0.36%増加した。内訳は、第一次産業用は同6.29%増の641.44億kWh、第二次産業用は同2.84%減の1兆7,242.3億kWh(工業用は同2.98%減の1兆7,000.51億kWh)、第三次産業用は同10.70%増の2,555.16億kWh、家庭用は同11.39%増の2,970.33億kWhであった。また、8月単月の消費電力量は前年比8.22%増の3,462.23億kWhであった。

一方、1月から8月までの発電電力量は前年同期より0.8%増の2兆3,293.17億kWh(注：風力発電を含まない。国家統計局が対象とする規模以上の発電所が対象)で、その内、水力は同11.8%増の3,818.97億kWh、火力は同1.5%減の1兆8,748.58億kWh、原子力は前年と同じ453.93億kWhであった。

8月時点の、単機容量6,000kW以上の発電設備容量は前年同期比9.2%増の7億9,153万kWで、その内、水力は同17.3%増の1億5,436万kW、火力は同7.3%増の6億1,513万kW、原子力は増減なしの885万kW、風力は同81.4%増の1,250万kWであった。